

1回戦

11年春季リーグ
第6週・5月10日
1勝0敗

昨秋王者に完勝！



2回に一挙6点

国学院大0-7駒大

リーグ戦初ヒットを放つ友滝
【左】と二塁打を放ち二塁に滑り込む福山【下】



2回に適時二塁打を放つ小林



完封勝利し、拳を握る白崎勇

「何も考えず思い切り振った」。小林の4打点を筆頭に、前節は2試合で2得点と元気のなかった打線が、そのうっぷんを晴らした。

2回、友滝健弘(政4)の期待の今季初安打から1死満塁の絶好期をつくり、迎えた打者は小林。迷いなく振り抜いた打球は「打った瞬間抜けると思

った」と、中堅手の頭上を越えた。これが走者一掃の適時二塁打で大きな3点を奪う。

続く岡将吾(法4)の左翼前適時打、相手の失策で更に2点を追加。2死二塁となり、この回9人目の打者は代打・福山亮(経1)。初球から思い切

って引つ張った打球は右翼への適時打。「これから

4年間やっていく中で最初がタイムリーなのは、素直にうれしかった」と公式戦初安打初打点を記録。この回打者一巡の猛攻で6点を先制した。

先発はエース・白崎勇。東洋大戦の反省を生かして自身のフォームを見直した。この日は走者を出しても落ち着いて投げ抜き、流れを渡さない。

すると6回、先頭の小林が4度目の打席へ。「感触は良かった」と甘く入ってきた2球目を右翼スタンドへたたきこみ、試合を決定付けた。

この日の白崎勇に

「優勝がなくなっただけではない。気持ち的に強くもっていただい」と岡。いい流れで初戦を取り、連勝で優勝へ、そして秋へとつなげることが出来るか。

国学院大との初戦。2回、満塁で小林勇登(経3)が中越適時二塁打を放つなど、一気に6点を奪い試合を優位に進める。先発の白崎勇氣(管4)は、7安打を許すも要所を締めた投球で1年ぶりの無四球完封。投打がかみ合い、初戦を制した。

国学院大	000	000	000	0
駒大	060	001	00x	7

【駒大】	打安点
④小林	524
⑧嘉数駿	510
⑥岡	311
⑤白崎浩	320
⑦山下	100
H7福山	211
7柴田	100
7中谷	000
⑨友滝	310
DH江越	410
②戸柱	300
③増本	411
計	34106

▽二塁打=小林
▽本塁打=小林

回	打安責
○白崎勇	9 3270

写真：堀江あゆみ
山田遼太郎
文：田上 慧